

# ダイバーシティ、公平性と インクルージョンへの取り組み

ビル&メリンダ・ゲイツ財団は、「世界中の誰もが身上や境遇に関係なく、健康で実りある人生を送る機会があるべきだ」というシンプルな信念に基づいて設立されました。私たちは、よりダイバーシティ(多様性)に富んだ、公平でインクルーシブ(包摂的)な未来の実現に向けて活動しています。人種や性別、その他の人間的な差異に妨げられることなく、誰もが健康を享受し、より良い教育が保証され、貧困を克服していくことが可能になったその時、私たちはそのような未来に生きていることとなります。

今はまだ、そのレベルに到達できていません。人種差別や性差別などの様々な偏見は、慈善活動の分野を含むグローバル社会のあらゆる場面で見受けられます。人々の意見、アイデアやアプローチの多様性を受け入れ、公平性とインクルージョンを高めてこそ、すべての人々の生活向上に向けた支援を可能にするのです。

私たちは世界最大の私立財団として、自分たちが極めて恵まれ、大きな責任を有していることを認識しています。私たちの活動においてパワーの不均衡があることを認識しています。自分たちの文化や習慣を厳しく見直す一方で、これまで行ってきたジェンダー平等に関する取り組みを土台にさらにこれを推進するとともに、「DEI (Diversity, Equity and Inclusion)」活動に独自に取り組んでいる多くの組織から学ばなければなりません。知識を持つことは必要ですが、それだけでは不十分です。私たちは、学んだことを行動に移し、より大きなインパクトと測定可能な結果をもたらすことを誓います。

私たちの組織は、3つの優先事項を掲げています。「誠実性を追求する文化」と、「一つのグローバルな財団」として考え行動することを前提に、「インパクト重視」であること。私たちの活動の成果は、その取り組みによってどれ程の命を救うことができたか、若しくは改善できたかで評価されます。**ダイバーシティ、公平性とインクルージョンを、私たちの全ての活動の基本原則としなければ、これらを達成することはできません。**

私たちは、

1. 世界中で結果を出していくために、我々のパートナーや彼らが活動するコミュニティに積極的に耳を傾け、彼らのアイデアや声に投資し、高めていきます。
2. 互いのバックグラウンド、意見、役割や貢献を認め評価する、インクルーシブな職場文化をつくります。
3. 能力を最大限に発揮できるよう支えられ、グローバルで文化的に多様なチームを構築できるような習慣を醸成します。
4. 財団のリーダーたちに説明責任を課し、多様性のあるインクルーシブなチームを構築すること、公平で透明性のある意思決定を行うことに加えて、インクルーシブな行動を率先して行うことを求めます。

私たちはこれらの成果に向けて、組織内、また世界中で、だれもが健康で実りある人生を送る機会を得、尊厳、慈愛して敬意をもって扱われるというビジョンを堅持していきます。